

大学院生向けジョブ型採用に繋がる インターンシップのあり方

日本私立大学団体連合会就職問題委員会委員
立教大学キャリアセンター部長・経営学部教授

佐々木 宏
ささき ひろし



文系大学院生の キャリアパスのために

2020年度は、産学とも新型コロナウイルス問題の対応に終始した1年であった。同時に、売り手市場の変化、採用面接やインターンシップのオンライン化、ジョブ型採用の導入に向かう動きなど、企業の採用活動に大きな変化の兆しが表れた年でもあった。そうした激動の中、産学協議会の「採用・インターンシップ分科会」では、Society 5.0の実現を目指すための中長期的なインターンシップのあり方

が活発に議論された。その中に、文部科学省が進めている「ジョブ型研究インターンシップ」がある。これは、当面、博士後期課程に在籍する自然科学系専攻の学生が対象で、長期（2カ月以上）かつ有給で正規の単位科目として実施される方向で検討が進んでいる。^(注1)

私立大学には文系の学生が多い。私立大学の教職員は、現場でジョブ型採用の対象に相応しい大学院生がいることを実感している。実際、Society 5.0に必要な知識や能力の階層の最上位には、文系・理系によらない課題発見・解決力、未来社会の構想・設計力が

挙げられている。^(注2)しかしながら、文系大学院生（社会科学系、人文科学系）の場合、現状の就職活動のプロセスでは、専門能力やスキルが必ずしも適切に評価されておらず、キャリアパスが不明確なまま入社している者も少なくない。

新しい時代を担う人材の獲得、育成のために、文系大学院生のジョブ型採用についても、具体化に向けた検討を同時並行的にすべきと考え、日本私立大学団体連合会は次のような提案を行った。

文系大学院生とジョブ型採用に繋がるインターンシップ

Society 5.0時代のデジタル革新を担う人材として、データアナリティクス、データサイエンス、AIエンジニアリング、デジタルマーケティングなどのスペシャリストが挙げられている^(注3)。マーケティングは経営学の主要分野に他ならず、マーケティングリサーチ、計

○ジョブ型採用に繋がるインターンシップの対象業務

マーケティング、法務、データサイエンス、グローバル・貿易・通訳、シンクタンク・リサーチ、会計・ファイナンス、政策分析、人事・キャリア、コンサルティング・福祉、経営コンサルティング・経営企画、IT・AI、ソリューション営業、知財・特許など。

量経済学、社会調査などの分野で実証研究に携わる者は、データサイエンスの知識やスキルを備えている。また、SDGsへのアプローチを構想するうえで、人文学の深い知見は欠かせない。このように、文系大学院生が活躍できるフィールドは少なくない。アンケートを実施した結果、上に掲げたような業務でマッチングが可能であることが明らかになった^(注4)。

具体的なマッチング例

では、まず、消費者行動論、組織行動論、計量経済学、社会調査などの領域で研究を行っている者が、マーケティングや本社企画部門などでデータ分析を伴うリサーチ業務に従事するケースが考えられる。大量データのテキストマイニング^(注5)やAIアルゴリズムを使う実証研究に携わっている者は、AIやDX推進部門で活躍できる場がある。次に、公認会計士や税理士などの取得を目指す者(或いは取得済みの者)に、経理部門などで実務経験を積み機会の提供が考えられる。同様に、弁護士や弁理士などの資格取得を目指す者に、法務や特許関連の部署で実務経験の場を提供するケースも考えられる。なお、上記の業務はシンクタンク、マーケティング関連会社、コンサルティング・ファーム、会計事務所、法律事務所、ITベンダーやベンチャーなどのプロフェッショナル・サービス企業が実施するインターンシップの対象にもなり得る。

マッチングのオプションとして提案したのは、次の3パターンである。1つ目は先述の理系博士課程向けコンソーシアムの活用で、文系修士の学生向けに上記の職種を取り込んでいく方法である。2つ目は既存のマッチング機関の活用で、例えばJREC-IN Portalな

どを利用する方法である。3つ目は産学協議会に参加している主要企業と大学などの間で個別にマッチングの機会を創出し、パイロット実施と成果を積み重ねていく方法である。

新しいタイプのインターンシップ導入への期待

若い世代が活躍するフィールドが広がるほど、Society 5.0が示す豊かな社会は、それだけ実現に近づいていく。それを担う人材に、理系・文系の違いはない。高い知識やスキルを有する大学院生が自己実現に向かう最初のステップとして、或いは企業が自社の将来を担う人材確保の機会として、新しいタイプのインターンシップが適切に導入されていくことを願う。

(注1) 採用と大学教育の未来に関する産学協議会「ポストコロナを見据えた新たな大学教育と産学連携の推進」(2021年4月19日) P.64(65)

(注2) 「月刊経団連」(2020年6月号) P.14、図表1

(注3) 経団連「Society 5.0時代を切り拓く人材の育成―企業と働き手の成長に向けて―」(2020年3月17日) P.15(16)

(注4) 日本私立大学連盟「文系における『修士2年生以降を対象としたジョブ型採用インターンシップ』の具体化に向けた検討について(中間報告)」(2020年9月) 「採用・インターンシップ分科会」提出資料

(注5) テキストマイニング…大量のテキストデータから有益な情報を取り出すこと